

Mite Mite

「人と、街と、劇場をつなぐ。」 オーバード・ホール情報誌

2022- autumn
VOL.

74





今年のクリスマスに贈る
奇跡のスペシャル・ファンタジー

Daiwa House PRESENTS
熊川哲也 Kバレエカンパニー Winter Tour 2022
THE NUT くるみ割り人形
CRACKER

K-BALLET COMPANY 芸術監督
熊川哲也 interview

世界中で愛され、様々なバレエカンパニーによって上演されるクリスマスの風物詩『くるみ割り人形』。そのなかでも、唯一無二を謳う熊川哲也版が、この冬オーバード・ホールにやってきます! 独創的なストーリー展開や次々と移り変わる豪華絢爛な装置など、魔法にかかったような奇跡の時間を富山の皆様へ…。そんな特別な『くるみ割り人形』の魅力を、Kバレエカンパニー芸術監督の熊川哲也さんに伺いました。



熊川哲也 Tetsuya Kumakawa
北海道生まれ。1987年、英国ロイヤル・バレエ学校に留学。89年、ローザンヌ国際バレエコンクールで日本人初の金賞を受賞。同年、英国ロイヤル・バレエ団に東洋人として初めて入団。91年には同団史上最年少でソリストに、93年にプリンシパルに昇格。数々の名演を残し、名実共に世界的ダンサーとしての評価を確立する。98年、英国ロイヤル・バレエ団を退団。翌99年、K-BALLET COMPANYを設立。以来、芸術監督/プリンシパルダンサーとして団を率いるほか、演出・振付家としても才を発揮し、全幕古典作品の演出・再振付や、オリジナル全幕作品「クレオパトラ」や「蝶々夫人」などの新作を数多く発表。2013年、紫綬褒章受章。

—Kバレエカンパニー版『くるみ割り人形』は、原作童話のエッセンスが抽出されていますが、そのきっかけや理由をお聞かせいただけますか。

Kバレエで『くるみ割り人形』を初演したのは2005年になります。新作を創るにあたって意識したのは、19世紀に上演された古典から逸脱せずに、物語の整合性を高めることでした。なぜクララは人形の国へ行くことになったのか。くるみ割り人形は何者なのか? そのようなことをホフマンの原作から紐解いていき、通常のバレエ作品にはない要素を加えたのです。さらに、通常子供向けとも言えるシンプルなストーリーで描かれる『くるみ割り人形』に、冒険活劇の要素を加えたいとも考えました。

普通のバレエでは、1幕の終盤以降はすべて夢の中の出来事として描かれることも多いですが、私の版ではクララが本当に体験したことだと感じられるように描いています。子供ならではの感性が、大人にとっては非現実的な幻想のような冒険をリアルにする。このような冒険的な要素と物語の整合性を高めたことで、子供だけでなく、大人まで多くの方に楽しんでいただける作品になったと自負しています。

—作品の見どころをお聞かせください。

幕が降りるまで見どころの連続だとは思いますが、第1幕終わりにクララが訪れる雪のシーンも他のバレエ団とは一線を画す演出になっています。猛吹雪の後に訪れるしんと降り雪の静寂さと清らかさ、その詩情を抱いたのは私が北海道出身ということも無関係ではないでしょう。富山の方々も様々な雪景色をご存知でしょうか、ぜひ楽しみにしてください。

舞台のセットと衣裳も、見どころのひとつです。英国美術界の巨匠ヨランダ・ソナベンドと若手のレズリー・トラヴァースとともに作り上げましたが、ツリーが大きくなるシーンなどは、大変アドベンチャラスな音楽との相乗効果で視覚的インパクトが絶大な舞台転換を実現しています。

—『くるみ割り人形』という作品への思いをお聞かせください。

オーケストラにとって、年末の「第九」が欠かせないように、バレエ団にとっては『くるみ割り人形』が風物詩のような位置づけになります。世界中で毎年決まった時期に上演される作品というのは他に見当たりませんから、それだけ多くの方に愛されているという証でしょう。

第1幕、クララだけに天使が見えるシーンがあります。純粋な心の持ち主だからこそ天使が見えるわけですが、こうした眼差しというのは、子供のときは多かれ少なかれ誰も持ち合わせているものだと思います。大人になると皆その感覚を忘れてしまいますが、どこかで覚えている純粋な感情に『くるみ割り人形』を通して思いを馳せることができると思います。

—ツアー公演の醍醐味がございましたら、教えていただけますか。

様々な劇場に出会えることは興味深く、東京で何度も上演された作品でも劇場が変わると見え方が変わるものです。ダンサーにとってはお客様との距離感なども変わりますし、反応も異なりますから良い挑戦でもありますね。私自身がツアーで何十公演と踊っていた時は、各都市ごとに振付を少し変えてみたりもしたものです。



観光をする時間は全くありませんが、各地の名産を味わうことを楽しみにしているダンサーは多いと思いますよ。

—富山の皆さんへメッセージをお願いします。

オーバード・ホールは、ロイヤル・バレエ時代にも訪れており、最初に踊った時から大変素敵な劇場だという印象を抱いています。その後も幾度となく訪れていますが、毎回温かいお客様が多いと感じています。富山は美食の地であることも魅力的ですね。美味しい白エビに舌鼓を打つのも、訪れる度に楽しみにしています。

[STORY] 時は19世紀初め。人形の国では以前よりねずみたちとの領地争いが起こっている。ある日、ねずみの王様は人形王国に魔法をかけ、マリー姫をねずみに、婚約者の近衛兵隊長をくるみ割り人形に変えてしまう。魔法を解く方法はただ一つ、世界一硬いクラカトックくるみを割るしかない。だがそのためには純粋無垢な心を持つ人間の力が必要だ。人形の王から命を受けたドロッセルマイヤーはこの人物を探すため、人間界へと旅に出る。そこで出会った少女クララに待ち受けるものは…



公演情報

Daiwa House PRESENTS
熊川哲也 Kバレエカンパニー Winter Tour 2022
くるみ割り人形
◆日時: 2022年12月23日(金) 19:00開演
◆会場: オーバード・ホール

演出・振付: 熊川哲也
音楽: ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー
指揮: 井田勝大
演奏: シアター オーケストラ トーキョー

出演



マリー姫 飯島望未
くるみ割り人形/王子 山本雅也
クララ 世利万葉
ドロッセルマイヤー グレゴワール・ランシエ
雪の女王 日高世菜
雪の王 石橋奨也

◆チケット: [全席指定・税込]
S席: 13,000円 A席: 10,000円
B席: 7,000円 C席: 5,000円
U-25: 3,000円

※U-25: 鑑賞時5歳以上25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。
※5歳未満入場不可。

助成: 文化庁 子供文化芸術活動支援事業

◆プレイガイド: アスネットカウンター

★チケットのお求めは P11「チケット購入方法」をご覧ください。

※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。最新のキャスト情報はオーバード・ホールHPにてご確認ください。

「富山県デビューなら絶対、 《アルプス交響曲》です」

指揮者 **山田和樹** interview

©Zuzanna Special

山田和樹 指揮 KAZUKI YAMADA / YOMIURI NIPPON SYMPHONY ORCHESTRA 読売日本交響楽団

曲目 ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 短調 Op.18
R.シュトラウス:アルプス交響曲 Op.64

山田和樹(指揮)
KAZUKI YAMADA, Conductor
国際的に活躍する日本のエース。東京藝術大学指揮科卒業。2009年ブザンソン国際コンクールに優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー。パリ管、ベルリン放送響、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。18年から読響首席客演指揮者を務めている。スイス・ロマンダ管首席客演指揮者を経て、現在はバーミンガム市響の首席客演指揮者(23年から首席指揮者兼アーティストティックアドバイザーに就任)、モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督、東京混声合唱団音楽監督兼理事長の任にある。ベルリン在住。



©読売日本交響楽団



©読売日本交響楽団

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に続き、英バーミンガム市交響楽団の首席指揮者就任が決まるなど世界で活躍する山田和樹が2023年1月21日、富山県で初めて演奏する。首席客演指揮者を務める読売日本交響楽団(以下読響)とオーバード・ホールを訪れ、R.シュトラウスの大作「アルプス交響曲」を披露、入善町出身の高校生ピアニスト、中瀬智哉とはラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」を共演する。山田のベルリンの自宅と東京を結び、テレワーク形式のインタビューで話を聞いた。

—東京のオーケストラの国内ツアーだとベートーヴェンやブラームス、チャイコフスキーあたりが「定番」ですが、なぜ演奏時間1時間に及ぶ巨大編成の難曲「アルペン(アルプス交響曲)」にされたのですか?

富山県といえば立山連峰、立山黒部アルペンルートを思い出す、いささか短絡的(笑)な発想です。編成が大きく、特殊な楽器も使うので演奏の難易度が高く、費用もかさむので普通は尻込みしますが、読響ならできます。作品のテーマは「登山と人生」。順次進行で自然が描写され、上りはきつくだりは大変、途中でアクシデントにも見舞われるなど、美しく爽快な響きの中に人生そのものの物語がこめられています。普通の作曲家なら頂上に到達した瞬間、ガンガンとオーケストラを鳴らしたくなるどころ、シュトラウスはオーガエ1本に絞り、英雄がふと見た人生の孤独のような雰囲気を醸し出すなど、非常に入念です。最後も大音響ではなく、悲しく後ろ髪を引くように終わります。

—初心者にとって、難しい作品ではありませんか?

決して、怖くはありません。僕も子どものころ偏食でしたが、食べられないと思い込んでいたものを初めて食べる時の勇気というか発見というか、音楽にもそういう出会いがあります。音楽好きの友人、家族、恋人に誘われ、家族やグループ、カップルで気軽に訪れ、皆さんで“山登り”をお楽しみください。リアルな登山なら息が切れる方も、音楽のアルプスなら頂上まで行けます。輝かしい金管楽器やウィンドマシン、サンダーマシンなど強風や雷を表す特殊楽器などの響きに耳を傾ける

中瀬智哉(ピアノ)
TOMOYA NAKASE, Piano

2006年富山県入善町生まれ。4歳よりピアノを始める。ビティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会において2020年G級金賞、東京都知事賞、ヒノキ賞受賞。ショパン国際ピアノコンクールin ASIAアジア大会において2019年中学生部門金賞・ソリスト賞受賞、同年第73回全日本学生音楽コンクール全国大会中学校の部第1位等、受賞多数。2019年ポルトガルにてマリア・ジョアン・ピリス氏とクラウディオ・ソアレシ氏のワークショップに参加。これまでに金子勝子、鈴木弘尚、黒田亜樹、横山幸雄の各氏に師事。現在、慶應義塾高等学校2年在学中。



もよし、登山口はいくつもあり、お客様それぞれが作品の面白さをご自分で見つける可能性も高い作品ですから、決して“損”はさせません。僕自身、読響との演奏はとても楽しく、明るい雰囲気の中で信頼関係を築いてきました。一番ワクワクしているのは、僕かもしれません。

—ピアノのソリスト、中瀬智哉さんとは初共演ですね。

同じくピアニストで1998年生まれの藤田真央さんも若いと思いましたが、中瀬さんはさらに年少で、真央さんの弟みたいです。最初にお会いして打ち合わせた時、目がとても綺麗で気持ちが純粹、すくすくと育たれた男の子だと思いました。ラフマニノフの《協奏曲第2番》は名曲の中の名曲で頻りに演奏されますが、案外むずかしい作品です。ちょうど音楽を聴きはじめ、高校生くらいで好きになる曲の1つともいえ、中瀬さんの年代にふさわしい「思春期のロマンティズム」のようなものを引き出すことができると考えています。

—富山県内で演奏されるのは初めて、と聞いています。

はい、本番を指揮するのは初めてです。オーバード・ホールが開館5周年にヴェルディのオペラ《アイダ》を上演した2001年は、僕が大学(東京藝術大学音楽学部)を出た年でした。本番を指揮された恩師、松尾葉子先生のアシスタントとして1週間ほど富山市内に滞在したので、ホール自体は良く知っています。その数年後、アマチュアオーケストラのリハーサルを指導するため、1泊2日の日程で再訪しました。富山の印象はとにかく人が温かく、送り迎えに至るまで面倒見がとても良いことでしょうか。今回、僕と読響のコラボレーションを富山の皆様に体験していただけるのは大きな喜びです。

—山田さん個人の大きな話題としては今年(2022年)、ロンドンの夏の風物詩でもある音楽祭「プロムナードコンサート(プロムス)」でのデビューが挙げられます。

20年来の夢の舞台に立てました。モナコのオーケストラのポストを得た時点から、あれこれ交渉してきましたが、プロムスの正式名称にはBBC(英国放送協会)の名が冠してあり、英国のオーケストラのシェフ(首席指揮者や音楽監督)でないとなかなか、出演できないのです。バーミンガム市交響楽団で首席客演指揮者から首席指揮者兼アーティストティックアドバイザーへの昇任が内定した時点で、「ひょっとして、プロムスにも出られるのではないかと」狂喜乱舞しました。シェフの仕事は2023年7月からなのに、1年前の今年、もうバーミンガムとの出演が実現したのです。ロイヤル・アルバート・ホールの1階全員が総立ちで聴く、あの独特の空気感を最高のパートナーであるバーミンガム市響とともに体験でき、僕は世界で一番幸せな人間だと思いました。コロナ禍は続いているのですが、僕は「やる時にやる、やれない時はハラをくぐる」と決め、時間ができれば勉強に充てています。今が一番、音楽をやっていて楽しいです。

聞き手・文 池田卓夫(音楽ジャーナリスト@いけたく本舗®)
<https://www.iketakuhonpo.com/>

富山が誇るピアノ界のホープ! 中瀬智哉さんに「一問一答」

- 2022年1月開催「ショパン・コンクール、その頂に挑む者たち」で、オーバード・ホールの舞台上で演奏された感想は?
オペラハウスのように天井が高く、まるでオペラ歌手になったような気持ちになりました。
- ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番」の魅力や聴きどころは?
冒頭、鐘の舌がゆっくりと振り子のように揺れ始め、その音は重く静かに遠くから近づいてきます。そこへオーケストラが入り、音と感情の波が互いにぶつかり絡み合う瞬間は心が震えます。そして甘く切ないメランコリックなメロディー、神秘的なハーモニー、最高に美しいです!
- 何歳からピアノを始めましたか?
ピアノ教師をしていた母の影響で、4歳からピアノを始めました。
- 尊敬しているピアニストは?
ウラディミール・ホロヴィッツ、スヴャトスラフ・リヒテル、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ、マウリツィオ・ポリーニ、クリスティアン・ツィマーマン、ダン・タイ・ソン
- 中瀬さんの夢は?
世界中の人に喜んでもらえるようなピアニストになりたいです。
- ピアノ以外の趣味や特技、マイブームは?
趣味は大相撲観戦と音楽鑑賞。マイブームは海や山を眺めること。
- 本公演への意気込みと、富山の皆さんへメッセージをお願いします。
雄大な立山連峰の眺め、あたたかい人、おいしい水、きとぎとの海の幸、澄んだ空気、そんな故郷の富山が大好きです。オーバード・ホールで山田和樹マエストロと読響の皆様と共演できる日が来るとは夢にも思っていませんでした。感謝でいっぱいです。山田和樹マエストロ&読響のオーケストラの皆様、そして大好きな富山の皆様と、ラフマニノフの壮大で美しい叙情の世界を共有できることを楽しみにしています。

公演情報

山田和樹指揮 読売日本交響楽団

◆日時:2023年1月21日(土)16:00開演

◆会場:オーバード・ホール

指揮:山田和樹 ピアノ:中瀬智哉 管弦楽:読売日本交響楽団

帰ってきた! 山田和樹×読響公演 プレ講座

加藤昌則が誘う、 劇場型クラシック鑑賞術

◆日時:2023年1月16日(月)18:30開演

◆会場:オーバード・ホール [詳細はP10をチェック!]



◆チケット:[税込]

①1/21(土)山田和樹指揮 読売日本交響楽団 [全席指定]
S席:7,000円 A席:5,500円 B席:4,000円 U-25:2,000円

②1/16(月)プレ講座 [全席自由]
受講料:1,000円

③山田和樹指揮 読売日本交響楽団+プレ講座《セット券》
S席:7,500円 A席:6,000円 B席:4,500円 U-25:2,500円
※U-25:鑑賞時25歳以下対象。公演当日の空席よりお席をご用意します。
※未就学児入場不可。

◆チケット発売日:
アスネット会員先行 10月8日(土)のみ
一般発売 10月16日(日)~

◆プレイガイド:アスネットカウンター
★チケットのお求めは
P11「チケット購入方法」をご覧ください。



芸術文化振興基金助成事業

オーバード・ホール 中ホール 2023.7.1 | SAT | 開館



みんなが気軽に集える、
“ちょうどいい”ホールが
誕生します!

2023年7月1日、富山駅北に「オーバード・ホール/中ホール」が開館します。最大652席の可動式客席を備えた中ホールは、ジャンルや演出の可能性を広げ、演劇、コンサート、ファッションショーなど多目的な用途に対応できます。また館内には、音楽やダンス、アートなど気軽に使える練習室もオープン! 創作のための身近な活動拠点としてご利用いただけます。隣接する大ホール(2196席)と一体となり、日常の暮らしの中で、子どもから大人まで気軽に集える“ちょうどいい”ホールを目指します。

富山駅から徒歩3分。
オーバード・ホール
大ホール北側に開館



例えば

「やりたいこと!」が実現できる中ホール。

中ホールの客席は可動式。アイデア次第で、様々な可能性が広がります。昨年、「やりたいこと」を募集したところ、富山県内外からたくさんのご応募をいただきました。皆様からいただいた「やりたいこと」をもとに、ホールの使用例をご紹介します。

こんなことにも、
あんなことにも
“ちょうどいい”

高校生
クイズバトルを
やりたい!



ホール/平土間
可動式客席をすべて収納すると、平土間空間にチェンジ!
テーブルを配置して、演奏会を楽しむこともできます!

書道の
パフォーマンス大会を
やってみたい!



ダンスバトルを
やりたい!



ホール/センターステージ
演者を360°囲むセンターステージにチェンジ!
臨場感あふれる空間になります。

獅子舞が
一堂に会する発表会
をやりたい!



アートマーケットを
やりたい!



ホワイエ
公演のない日は、ホワイエだけの貸出もOK!
吹き抜けの開放的な空間です。

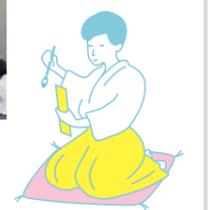
世界の
コーヒー試飲会を
やりたい!



俳句や囲碁の会を
やりたい!



練習室
館内にはグループや個人で利用できる
3つの練習室があります。



ギネスに挑戦する
イベントを
開催したい!



ウォーミングアップ室
公演のない日は、オープンスペースとして
イベントにも利用できます。

絵本展や
読み聞かせイベント
をやりたい!



ヴィンテージ
レコードの鑑賞会が
やりたい!



音楽鑑賞室
高品質のオーディオ機器を備えた
ラグジュアリーな空間です。



使用料

ホール部門貸館開始：2023年10月1日(日)～、練習室・音楽鑑賞室貸館開始：2023年7月3日(月)～

2022.10.1(土)～ | 部門 | 仮予約受付開始

施設名 (平日・税込)	面積	主な時間区分				貸館について
		9:00～12:00	13:00～17:00	18:00～22:00	9:00～22:00	
ホール(基本セット)		32,400円	38,900円	47,600円	98,400円	使用申請…… 使用日1年前の月の初日～ 貸館開始…… 2023年10月1日～ 貸館受付開始…… 2022年10月1日～*
ウォーミングアップ室	85㎡	1,400円	1,700円	2,100円	4,400円	
練習室1・3	15㎡	1,100円	1,400円	1,700円	3,500円	
練習室2	30㎡	2,300円	2,800円	3,400円	7,100円	使用申請…… 使用日3カ月前の月の初日～ 貸館開始…… 2023年7月3日～ 貸館受付開始…… 2023年4月1日～
音楽鑑賞室	38㎡	2,900円	3,500円	4,300円	9,000円	

※ 2022年度中は仮予約期間
• ホール(基本セット)は全ての楽屋(小・中・大)とホワイエを含む料金です。利用用途にあわせ必要な施設のみを組み合わせることもできます。• 土日休日や入場料等を徴収する場合、「ホール」等の使用料はアップとなります。• 冷暖房期間は別途料金がかかります。• 附属設備は別途使用料がかかります。(舞台設備、照明設備、音響設備など)

仮予約について
まずはお電話で、施設の空き状況や使用料をご確認ください。
オーバード・ホール管理課 TEL.076-445-5620 (9:00～17:00)
詳細はこちら→



マイケル・ジャクソンにマドンナ……。世界のトップアーティストを魅了し続けるケント・モリによるドリームダンスプロジェクト始まる!

KENTO MORI DREAM DANCE PROJECT



ダンスは世界を1つにする魔法。
あなたのその一歩で世界を変えよう!
“Dance is 1.”

KENTO MORI (ダンスアーティスト)：2005年単身渡米。マドンナのワールドツアー「Sticky&Sweet」Tour 専属ダンサーに抜擢され世界中を周る。マイケル・ジャクソンがパフォーマンスするはずだったロンドンO2アリーナより本人に扮して世界19カ国に向けて配信。その後、マイケル・ジャクソン追悼ワールドツアー「てふたび世界を周流。全世界5大大陸50カ国200以上の主要都市においてパフォーマンスを行う。

LIVE PROJECT

2022 **11/12** SAT

1回目/13:00 ~ 2回目/15:00 ~

会場：グランドプラザ特設ステージ

出演：BEGINNERクラス&ADVANCEクラス +KENTO MORI

初心者も親子も、ジャンルも経験も問わず KENTO MORI からレッスンを受け、一緒にグランドプラザでパフォーマンスします! KENTO MORI の DREAM DANCE PROJECT を目撃せよ!

観覧無料

KENTO MORI DREAM DANCE PROJECT 始動!

コロナ禍で新しい体験や、出会いが制限される中、自分を開放して表現の喜びを感じるチャンスをつくろうと昨年開催した「LIVE SHOP」。富山の子どもたち、ダンサーたちを対象に、たった1日でダンスを練習し、その成果をオーバード・ホールのステージで発表するという超濃密なダンスイベントとなりました。KENTO MORI の漲るパワーに呼応し、ダンスが得意な子どもたち、そうではない子どもたちも、思い思いにステージを楽しんでいました。

そして今年、さらにパワーアップし、2つのプロジェクトを計画。世界のトップアーティストを魅了し続ける KENTO MORI が監修した「DREAM DANCE PROJECT」が始まります。



「DREAM DANCE PROJECT」とは…

PROJECT 1. 「LIVE PROJECT」

「LIVE SHOP」を、さらにパワーアップ! ビギナー(初心者、親子での参加など)・アドバンス(中・上級者、ジャンル、経験年数不問)各44名を公募し、ダンス作品を発表するプロジェクト。レッスンを重ね最終的にはグランドプラザで発表します。※公募はすでに締切っております。

PROJECT 2. 「TOYAMA SCHOOL PROJECT」

KENTO MORI が富山市内の中学生たちに「夢に向かって、今を懸命に生きる」ことを熱く伝えるプロジェクト。第1弾となる今回は、水橋中学校 & 三成中学校と、城山中学校に行き、2学年の生徒約200名とダンス作品を作り上げ、10代の今をダンスで表現しました。



劇場で公演を楽しむことができるのは、演者はもちろんのこと、それを影で支える人がいるから。開演前の準備をする現場に潜入して、その仕事を探ります。



ライター上坂真紀の

「劇場を支える人々」

非日常へと誘う舞台づくり。



黒い幕が、非日常の時へ。

私の数メートル先には、テレビの中の人があった。女優の泉ピン子さんと、俳優の村田雄浩さんである。二人は舞台上で台本を手に、複数の役を演じ分けていた。8月17日、オーバード・ホールで開催された朗読劇「泉ピン子のすぐ死ぬんだから」である。終演後のトークでは、ピン子さん節が炸裂し、会場は大いに盛り上がった。

明かりが終了を告げると、否応なしに現実に戻される。さっきまで非日常の世界に浸っていたのは、お二人の熱演もさることながら、空間そのものにも理由があるのだろう。この日の会場は舞台上に作られた特設シアター。従来の客席を通して幕で覆われた舞台上がり奥に進むと、もうひとつの小さな劇場が目の前に現れる。さりげなく高揚感をかき立てる造りだ。そんな特設シアターが朗読劇の行われる2日間だけで壊れてしまうと思うと、私は贅沢な時間を味わっていたのだと感じる。

細部にまで、安心を作る。

公演の前日、まだ何もない舞台上に私は立っていた。しばらくして進士大輔さん率いる舞台の仕込み作業が始まる。彼らは平台や箱馬といわれる木製の箱などを階段状に積み上げ、仮設客席を作りあげていく。進士さんも率先して作業に励む。スタッフと共に汗を流す姿勢が、スムーズな連携を生み出しているのだろう。客席の階段には観客が足を踏み外さないよう、一段一段の端に小さな白いテープが貼られていた。公演の終わりとともに跡形もなく消える運命

にあっても、細やかな作業に手を抜くことはない。

消防法に則って舞台上に仮設客席を設置するのも彼らの仕事だ。豊富な知識を生かして怪我や事故を防ぐための壁や手すり、避難経路も設けていく。そういえば、華奢な椅子には不思議と安定感があった。転げ落ちることのないよう、複数の脚をつなげることで一つの大きな椅子として固定させているという。「進士は真面目で一生涯懸命。安全面を一番考えているのは彼かもしれない」と話すのは、上司にあたる舞台技術課の曾根さん。進士さんは大きな安心も作っている。

オーバード・ホールならではの舞台を。

数ヶ月前にも同シアターでの公演、日仏共同製作作品「もつれる水滴」を鑑賞した。コンテンポラリーサーカスのパフォーマー、ヨルク・ミュラーさんのジャグリングと呼ばれる布の動きに引き込まれ、これまでに観たことのない世界に没頭することができた。

その舞台図面を作成したのは、進士さんである。舞台監督と意見や情報を共有し、まっさらな状態から作り上げたという。

また、演者が思い描く表現を実現するために、新たな装置の提案や操作なども行ったそうだ。

オーバード・ホールには客席から見える主舞台のほか、奥と左右にも舞台がある。この「三面半舞台」が、舞台上特設シアターを実現している。「これからは独自の機構を生かした舞台を作っていきたいです」と笑顔で話す進士さん。仲間と力を合わせて、オーバード・ホールの可能性を追求していくのだろう。

舞台技術課・舞台機構担当 進士大輔
Daisuke Shinshi

名古屋生まれ、広島育ち。オーバード・ホールの舞台機構スタッフとして、今年で24年。開館25周年特別記念公演「INFINITY」、日仏共同製作作品「もつれる水滴」などを担当。

主催公演情報

※情報は2022年9月16日現在のものです。新型コロナウイルス感染対策を講じて開催します。感染状況によっては開催に変更が生じる場合がございます。ご来場前にはオーバード・ホール公式HPで最新情報をご確認いただきますようお願いいたします。

～12月 (全14回) オーバード・ホール アウトリーチ企画 **ウィークエンド・コンサート 2022**

街なかへ、海辺の町へ、山あいへー。
あなたのまちへ音楽をお届けします。
◆会場＝富山市内各地区



詳細はオーバード・ホールHP内特集ページをご覧ください。



入場無料

10/15～17 Sat Mon ミュージカル「ミス・サイゴン」日本初演30周年記念公演

- ◆出演＝市村正親・駒田一・東山義久(トリプルキャスト)、昆夏美・屋比久知奈(ダブルキャスト)ほか
- ◆開演＝10/15(土) 12:00 / 17:00
10/16(日) 12:00 10/17(月) 12:00
- ◆会場＝オーバード・ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込]
S席 15,000円 A席 9,500円
B席 6,000円 U-25 4,000円



好評発売中

11/5～6 Sat Sun トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル 2022

- 富山市民芸術創造センターの利用団体が一堂に会し、ステージパフォーマンスを繰り広げます。
- ◆日程＝11/5(土) 10:00～17:00
11/6(日) 10:00～16:00
- ◆会場＝富山市民芸術創造センター



詳細はこちら

入場無料

12/3 Sat 劇場が結ぶ、本と音楽の世界 vol.3 「マリコとオペラ」

- オペラ好きで知られる作家・林真理子のセレクトによる、珠玉のオペラ・アリアと魅惑のクロストーク。
- ◆演奏曲＝ブッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より わたしのお父さん ほか
- ◆開演＝15:00 ◆会場＝オーバード・ホール
- ◆料金＝[全席指定・税込] 一般 3,000円 ジュニア(高校生以下) 1,000円



好評発売中

2023 1/16 Mon 山田和樹 × 読響公演 プレ講座 帰ってきた! 加藤昌則が誘う、劇場型クラシック鑑賞術

かつて音楽入門講座で人気を博した加藤昌則氏を講師に招き、本公演の楽曲や作曲家を深掘りする特別講座を開催! コンサートをより楽しめる鑑賞術を伝授します。

- ◆講師＝加藤昌則(作曲家・ピアニスト)
- ◆開講＝18:30
- ◆会場＝オーバード・ホール
- ◆料金＝[全席自由・税込] 1,000円



1/21(土) 読響公演とのセット券なら半額で受講できます。詳しくはP5をご覧ください。

会員先行発売日: 10月8日(土)のみ
一般発売日: 10月16日(日)～

U-25: 25歳以下対象の座席引換券。座席はお選びいただけません。公演当日、当日券窓口で身分証をご提示の上、入場券とお引換ください。
※年齢による入場制限については、各公演で異なります。

12月25日(日)にオーバード・ホールで開催を予定しておりました「第九交響曲“歓喜の夕べ”2022」は中止となりました。

10/7 Fri 12/9 Fri 市民のためのランチタイム **ジョイフルコンサート**

- 富山で活躍する音楽家たちによるコンサート。
- ◆会場＝富山市民プラザ アトリウム
- Vol.85 10/7(金) 11:50～12:50
- ◆出演＝渋谷優花(ヴァイオリン)、西田宏美(クラリネット)、中野悠里(ピアノ)



- Vol.86(クリスマスコンサート) 12/9(金) 11:50～12:50
- ◆出演＝安田裕美(ソプラノ)、高尾静佳(ソプラノ)、櫻井涼子(ヴァイオリン)、松井奏幸(クラリネット)、戸島園恵(ピアノ)

入場無料 ※状況によっては入場者数を制限する場合がございます。

10/23 Sun 音楽の絵本 halloween

- ◆出演＝ズーラシアンプラス、サキソフォックス、弦うさぎ
- ◆演奏曲＝ゲゲゲの鬼太郎、おばけなんてないさ、スリラー ほか
- ◆開演＝14:00
- ◆会場＝婦中ふれあい館 ふれあいホール
- ◆料金＝[全席指定・税込]
高校生以上 3,000円
中学生以下 1,000円
※3歳以下膝上鑑賞無料
(座席が必要な場合は有料)



好評発売中

11/20 Sun 桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会

- ◆指揮＝ジョセフ・ウォルフ ◆クラリネット＝亀井良信
- ◆演奏曲＝リスト：交響詩「オルフェウス」
フランセ：クラリネット協奏曲
ベルリオーズ：幻想交響曲
- ◆開演＝14:00
- ◆会場＝オーバード・ホール
- ◆料金＝[全席自由・税込] 一般 3,000円



好評発売中

12/7 Wed AUBADE HALL Presents 音楽入門講座「ビートルズ大学 TOYAMA」

ビートルズ初心者からマニアまで楽しく学べるレクチャー。

- VOL.6「後期ビートルズの魅力2」
- ◆講師＝宮永正隆(音楽評論家・ビートルズ大学学長)
- ◆開講＝19:00
- ◆会場＝富山市民プラザ アンサンブルホール
- ◆料金＝[全席指定・税込] 一般 1,500円
ジュニア(高校生以下) 500円



残りわずか

FMとやま「ヨリミチソラ」内
「ヨリミチソワレ」放送スタート!

10月からオーバード・ホールのラジオ番組がお引越し&リニューアル! 毎月3回、主催公演の出演アーティストや関係者を迎え、公演の見どころや舞台芸術への思いを伺うことで、劇場や作品との出会いをエスコートします。

FMとやま 82.7MHz
毎月第1～第3火曜日 18:10頃～

パーソナリティ
垣田文子

AUBADE HALL calendar 2022.10～2023.1

アスネット...アスネットチケット取扱い

- 10 15(土)～17(月) ミュージカル「ミス・サイゴン」日本初演30周年記念公演 問 北日本新聞社事業部: 076-445-3355 アスネット
- 22(土) 桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ 協奏曲のひとつき 問 桐朋学園音楽部門 富山グループ教学チーム: 076-434-6800 アスネット
- 23(日) 第36回 富山地方鉄道吹奏楽団定期演奏会 問 富山地方鉄道(株) (総務課 森): 076-432-5530
- 29(土) 第18回 富山市中学校文化祭 問 富山市中学校文化連盟 事務局(新庄中学校 青山教頭): 076-421-5775
- 30(日) 東海東京フィナンシャル・グループ presents 葉加瀬太郎コンサートツアー 2022 BEAUTIFUL WORLD 問 エンタメスタイル: 076-256-5538
- 11 2(水) 令和4年度富山市立芝園中学校合唱コンクール 問 富山市立芝園中学校: 076-441-4638
- 6(日) とやま舞台芸術祭2022 安念千重子プロデュース オペラ「カルメン」(全4幕) 問 とやま舞台芸術祭実行委員会: 076-441-8635 アスネット
- 10(木) DRUM TAO 2022 新作舞台「KAIKI」 問 TAO事務局: 092-721-2015
- 11(金) sumika Live Tour2022-2023「Ten to Ten」 問 FOB金沢: 076-232-2424
- 13(日) 地球交響曲第九番上映会&穴澤雄介コンサート 問 平野: 090-2371-8828 pchikaru@gmail.com
- 20(日) 桐朋アカデミー・オーケストラ 特別演奏会 問 桐朋学園音楽部門 富山グループ教学チーム: 076-434-6800 アスネット
- 23(水・祝) 夢羽美友ミュージカルスクール第3回発表会 問 夢羽美友ミュージカルスクール: 050-5319-1868 アスネット
- 24(木) 韓国エンターテイメント「FLYING」 問 MIN-ON中部センター: 052-951-5391 アスネット
- 12 3(土) 劇場が結ぶ、本と音楽の世界 vol.3「マリコとオペラ」 問 富山市民文化事業団: 076-445-5610 アスネット
- 4(日) 高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト コンサートツアー 2022-2023 問 エンタメスタイル: 076-256-5538
- 13(火)・14(水) Official髭男dism 問 キョードー北陸チケットセンター: 025-245-5100
- 16(金) 富商ホットコンサート2022 問 富山県立富山商業高等学校: 076-441-3438
- 17(土) ミュージックフェスタ2022 in TOYAMA 問 自衛隊富山地方協力本部: 076-441-3271
- 23(金) Daiwa House® PRESENTS 熊川哲也 Kバレエカンパニー Winter Tour 2022「くるみ割り人形」 問 富山市民文化事業団: 076-445-5610 アスネット
- 25(日) 富山県立富山工業高等学校吹奏楽部 第59回定期演奏会 問 富山工業高等学校吹奏楽部: 076-441-1971
- 1 15(日) スーパー戦隊スペシャルライブ～ドンブラザーズお祭りステージ～ 問 北日本放送事業部: 076-432-5555(代)
- 16(月) 山田和樹×読響公演 プレ講座 帰ってきた! 加藤昌則が誘う、劇場型クラシック鑑賞術 問 富山市民文化事業団: 076-445-5610 アスネット
- 21(土) 山田和樹指揮 読売日本交響楽団 問 富山市民文化事業団: 076-445-5610 アスネット

チケット購入方法	インターネット	電話予約	窓口販売
アスネットカウンターでお買い求めください。	アスネットオンラインチケット www.aubade.or.jp 24時間予約可能 ※ご利用の際には会員登録が必要です。	アスネットカウンター(オーバード・ホール1F) TEL. 076-445-5511 10:00～18:00 定休日: 月曜(月曜が祝日の場合、翌平日休み) 年末年始(12月29日～1月3日)	

オーバード・ホール会員システム「アスネット」
会員登録はオーバード・ホールHPへ

▶アスネット会員(年会費: 1,800円) 特典 公演チケットの先行販売	▶メール会員(年会費: 無料) 特典 公演情報のメルマガ配信
---	-----------------------------------

オーバード・ホール公式SNSでは、主催公演などの最新情報を随時アップしています。ぜひフォロー・いいね!してください!

交通のご案内

- 鉄道利用: 富山駅下車、北口正面から徒歩2分
- 航空利用: 富山空港よりタクシーで約25分、バスで富山駅まで約30分
- お車利用: 北陸自動車道 富山I.C. 出口から約20分

オーバード・ホール(富山市民文化ホール) 〒930-0858 富山県富山市牛島町9-28 TEL.076-445-5620 http://www.aubade.or.jp

最新情報はHPをご覧ください

ミテミテ74-2022.Autumn号
発行日: 2022年10月3日
発行所: 公益財団法人 富山市民文化事業団
TEL.076-445-5610
企画・編集: Mite Mite編集部
Design: CROSS Cover Photo: 今寺学

いつの世も

あれは戦時中だったのか敗戦後間もなくのことだったのか。小学校の講堂に所狭しとまるで町中の人が集まったという感じで、多分椅子ではなく、大人はどうだったのか少なくとも小学生の私は床に直接腰を下ろしていた。初めてのお能を観たのだった。とても感動して、多分理解できていない、この不思議な舞台に何故私は魅せられているのだろう、と子供ごろに不思議に思ったことを鮮やかに覚えている。異次元に連れていかれたのだ。

敗戦の昭和二十年、私は九歳だった。敗戦間近にまさかそういう催しがあったとは思えないので敗戦後かなり直ぐのことだったのだろう。舞う人々も観る人々も待ちに待っていた故の、戦争から解放された喜びにあふれた催しだったのだと思う。

その頃、町内の小学生で勝手に学芸会のようなことを何回か企画した。舞台はお寺の本堂。どういう風にもその場所をお借りしたのか覚えがないのは上級生が手配をしてくれたからなのだろう。親たちや近所の人に招待状をお出した。一応構成を考えて歌ったり踊ったりした。人は人と一緒に、人に向かって歌ったり踊ったりしたい話し掛けたい動物なのだ。そういう場に居たい動物なのだ、多分。

話が突然とぶけれど、結婚して親になって、横浜で車の免許をとった。車を買った途端、夫が小倉に転勤になった。九州の道は初心者にも走りやすく早速、高千穂にも行った。谷川を左下に山沿いをかなり走って無事に着いた。すると地元の人にあの道はみんな怖がるのだと半ば呆れられて、帰路は緊張したことも懐かしい。天照大御神が隠れた天の岩戸の前で天鈿女命あめのうずめのみことが神楽を激しく舞い、集まっている神々が愉しく騒いだという天安河原あまのやすかわらに立ったときは不思議な気分だった。つつい岩戸を開けて覗かずにはいられなかった天照大御神の気持はよく分かったと思い、時空を超えた不思議な気持になった。河原の其処は、いわば大劇場第一号だったのだと思う。

文：池田澄子



池田澄子 Sumiko Ikeda :

俳人。1936年、神奈川県に生まれ新潟で育つ。三橋敏雄に師事。句集『空の庭』、『たましいの話』、『思ってます』、『此処』他。対談集『兜太百句を読む・金子兜太×池田澄子』。散文集『休むに似たり』、『あさがや草紙』、『本当は逢いたし』他。